

看護師特定行為研修 通信

Vol.6 令和5年6月「研修生に熱意を感じています！」

高崎総合医療センター 看護師特定行為研修
370-0829 高崎市高松町 36
027-322-5901

看護師特定行為研修委員長 鯉淵 幸生
特定行為研修・通信発行担当 村田 美幸

臨床推論の1コマ 1:1でこの講義を受けるのは勿体無い！

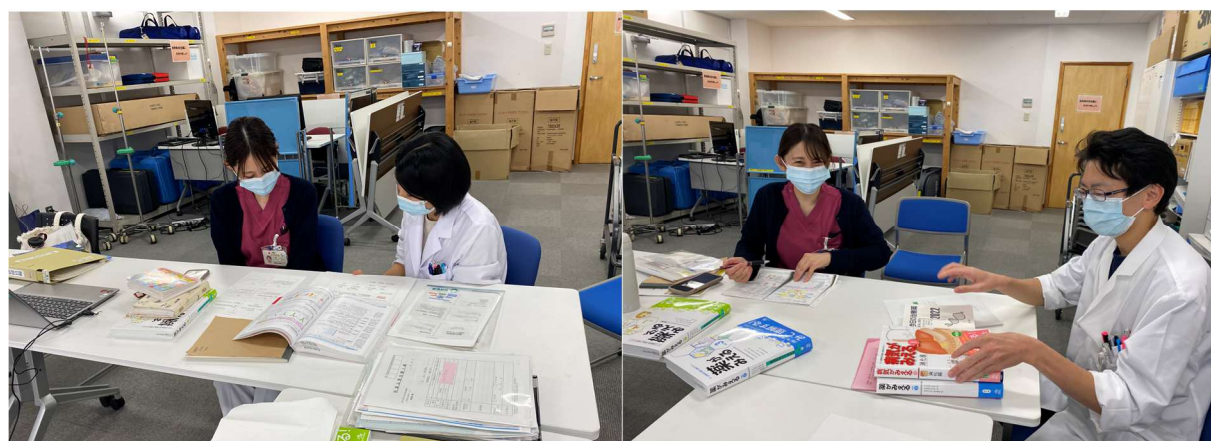


今年度の特定行為研修生は救命センターの木暮看護師です。救命センターで必要と考えた5区分を選択して入講しました。

木暮研修生は、I Padを片手に、佐藤部長の講義を聞いて、メモをとっていました。

普段、総合診療科外来を担当している医師から学ぶ臨床推論は奥深いですね。

今年度も薬剤師さんのご協力で臨床薬理学が修了できました



特定行為研修では、共通科目で臨床病態生理学、臨床推論、フィジカルアセスメント、臨床薬理学、臨床病態概論、医療安全学/特定行為実践を250時間かけて学びます。

特に、臨床薬理学では、緊急入院された患者さんの持参薬のことや、普段聞けないリウマチの治療薬やけいれんの治療薬、吸入治療薬を実際に触ってみるなどの演習を受けました。

今年度も無事に OSCE 試験を終えて、実習を開始しています！



特定行為区分において、木暮研修生の選択している区分中、気道確保関連、直接動脈穿刺、橈骨動脈ライン確保は、厚生労働省で OSCE（客観的臨床能力試験）が義務付けられています。今年度も、外部評価者（麻酔科医師）を交えて、他職種による OSCE 試験を行い、無事に合格しました。

木暮研修生は、まず指導者がシミュレータで行う橈骨動脈穿刺と橈骨動脈ライン確保の動画を撮影し、その後は動画を参考にしながら、サーフロー針の箱が空になったほど自主練習をしていました。特定行為研修にかける熱意を感じました。

触るだけじゃない！エコーを使って橈骨動脈から上腕動脈を確認する



木暮看護師が JNP 塩尻さんの橈骨動脈を
エコーで確認しているところ

橈骨動脈をエコー走査して、確認しました。肘の上腕動脈に向かって段々深くなっていくことが画像から理解することができました。

橈骨動脈ライン確保は侵襲的行為で疼痛を伴う処置なので、侵襲のないエコーで確認しながら行います。

看護師特定行為だからこそ、患者さんの痛みに寄り添い、安全な技術を身につけて行きます。

